

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育スタジオspark南茨木			
○保護者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年3月19日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64名	(回答者数)	37名
○従業者評価実施期間	2025年 3月19日 ～ 2025年3月29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月9日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童が通所を楽しみにしている。保護者様が事業所の支援に満足している。	・共動・共感をすることで、児童と同目線になり関わりを深めている。 ・児童が「やりたい」と思えることを、全力でできること。	・動画を用いた療育など、新しい取り組みも進めていく。 ・児童のやりたい気持ちが増幅するように、療育士が感情豊かに関わりかける。
2	・職員の配置が適切であること。	・一人の児童に一人以上、療育士が担当している。 ・児童同士、意見の相違がある際は、お互いに対応ができる。	・児童の発達段階に応じて、配置数を検討する。 ・質の向上の為、定期的に研修を行い、対応できるようにする。
3	・保護者の方に、寄り添うことができること。	・保護者の方からの相談、悩みに対して、時間を確保して相談、援助を心がけております。	・保護者の方や児童の様子をよく見て、表情等に変化があった時には、スタッフよりお伺いの声を掛けてるように致します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう、さらに工夫を広げていく必要がある。	・これまでどおりの運動療育に留まらず、動画を用いた療育や創作系ワークショップなどを、新しい試みを少しずつ実施しているが、まだ新しい試みが始まっていない児童もいる。	・動画を用いた療育や創作系ワークショップなど、引き続きプログラムの新しい工夫を続けていきます。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による、保護者同士の交流の機会が、まだ十分ではない。	・保護者交流会の実施はしているものの、回数が少ないのが、交流が十分でない要因である。	・保護者様同士の交流の機会は少しずつ提供しているが、より多くの保護者様が参加できるよう、工夫を重ねて参ります。例えば、テーマを設定しての開催など、新しい試みも検討したいと思います。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がまだ十分ではない。	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流については、職員間の連携が始まったばかりで、展開はこれからである。	・現在構築しつつある保育所や幼稚園との関係をより深め、今後の児童の交流につなげていきたいと思っています。また、地域の交流イベントなどに参加することを検討したいと思っています。 フィールド療育にて、近所の方と挨拶や交流をすることを、より一層進めていきたいと思っています。